

働く者の生活と権利を守るために 新たな運動の構築を目指して闘う

日刊 動労千葉

87. 5. 21

No. 2555

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五、六（公衆）〇四七二（22）七二〇七

当選の御礼と闘う決意 中 江 昌 夫



組合員・ご家族のみなさまの物心両面にわたる力強いご支援と行動によって四二九一票、第四位の高位当選を果たさせて頂き心からお礼申しあげます。この闘いの勝利は、動労千葉を先頭とする戦闘的労働運動の再生と再構築をめざす力の結集であり、中曽根内閣の戦後政治の総決算の名のもとにおける闘う労働組合の破壊、分断攻撃に対する反撃の闘いの突破口を切り拓いたものと確信します。しかし反

面では、中曽根政治の反国民的政策の強行は、新たな税制改革、防衛費の1%枠突破、国家秘密法制定と一体化したものとして明確化して行くことは必死でしょう。暗い時代再来の動向はさらに顕著になってきています。今次選挙の投票日二日前の船橋市民の会及び後援会事務所への警察権力の介入は、それを如実に示しています。「被疑者 氏名不詳」の家宅搜索令状によって無通告で窓や戸を破壊し、暴力で乱入するなど戦前戦中を通じての特高警察を上まわる行為が強行されているこの現実、単に警察権力のいやがらせというだけではすまされない極めて危険な潮流であり、平和と民主主義を否定する強権政治への道に大きく踏み出しているあらわれであります。

県議選における自民党の全国的後退、そしてその潮流は、市議選を通じても一層明白となる中で、売上税を廃案にする体制が県民市民の手でつくり出されたことは、今次選挙の大きな特徴であり、新たな地方の時代形成にむかって動き出していることもまた事実であります。私は、この選挙戦を通じて、売上税、防衛費1%枠突破、国家秘密法制定は一体のものであり、中曽根内閣の戦後政治の総決算攻撃のしめくくりであり絶対に認めることはできないと強く訴え、その反応は高まるものとして受け止めました。この闘いは、これから重要な山場をむかえます。労働運動の右翼的再編と権利を守るためには新たな市民・地域運動の構築が必要であります。

私は、平和と民主主義、基本的人権の尊重を政治の基調として、これからの活動を着実に展開する決意であります。組合員ならびにご家族のみなさまの一層のご支援・ご協力を心からお願いし、同時にみなさまとともに闘うこととお誓いし、ご挨拶と致します。

'87年度夏季手当で 当局に申し入れ

記

五月二〇日、動労千葉・動労総連合は、東日本旅客鉄道会社、日本貨物鉄道会社及び国鉄清算事業団に対し、一九八七年度の夏季手当の支払いについて「申第二五号」をもって次のとおり申し入れた。

- 一 一九八七年六月一日現在における基準内賃金の二、五カ月分を支払うこと。
- 二 臨時雇用員については、支払い日現在の賃金六五日分を支払うこと。
- 三 支払いにあたっては、格差をつけないこと。
- 四 支払い日は、一九八七年六月十五日とする。